

町田市芹ヶ谷公園 Future Park Lab2020

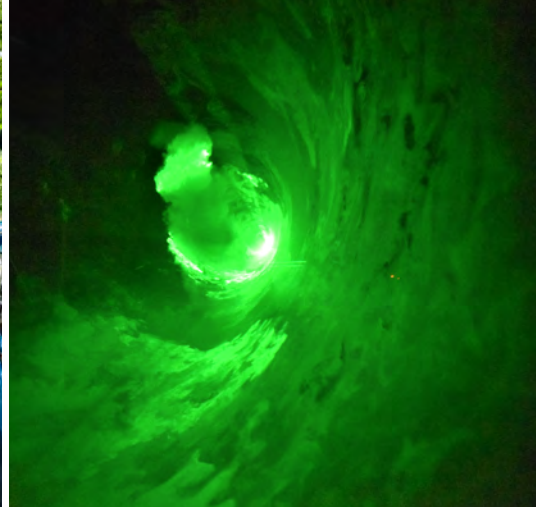
# 光のトンネル in 芹ヶ谷

2020.11.14 Sat. 15 Sun. 16:30-18:00\*

\*雨天の場合は、中止、延期の可能性があります。  
その際は、決定次第町田市ホームページでお伝えする予定です。

芹ヶ谷公園では、「パークミュージアム」という新たなコンセプトをかかげ、町田の多様な文化芸術の活動や公園の豊かな自然を体験しながら、学び楽しむことができる新しい体験型の公園を目指しています。【Future Park Lab】は公園の将来の姿を想像(創造)する公園活用実証実験で、園内のアーチの泉では、トンネルが市民参加の美しい光の環境造形にメタモルフォーゼして、訪れる人々を公園の未来の光景へと誘います。

(主催) 町田市 (共催) 桜美林大学芸術文化学群  
(制作) 桜美林大学芸術文化学群ビジュアル・アーツ専修田中敬一ゼミ  
(助成) 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
(協力) 株式会社小野組



光のトンネル  
in  
芹ヶ谷

“光のトンネル”はエコな電気で  
演出に使われる電気は、CO2 排出量ゼロの燃料電池車から供給。

Tunnel 1

“暖かいあかりをあなたと共に”

五十嵐 茜 桜美林大学芸術文化学群ビジュアル・アーツ専修 田中敬一ゼミ

この作品を考案したとき、世間は緊急事態宣言中でした。学校も休校、自由に遊びにも出かけられない日々が続く中、家で子供でも簡単に作れるライトアートを提案したいと思いました。当初は、新型コロナウイルスがここまで猛威を振るうとは思わず、市民参加型にし、ランタン制作動画、簡単なマニュアルを作成し、より多くの方々に参加していただきたいと思い準備しました。芹ヶ谷公園での展示は「アーチの泉」で同ゼミ生と共に“光のトンネル”を演出します。ランタンの展示には芹ヶ谷公園の木の枝を使用し、使う光源はLEDではなく暖色系の省エネ白熱灯を使います。そうすることで、ツリーハウスのような、暖かい雰囲気のある空間の創造を目指しました。ランタン制作は学生だけでなく市民の方々など多方面からのご協力により、完成しました。作品はトンネルの外にも展示しますのでどうぞ間近で光の暖かさをお楽しみ下さい。



※写真は担当学生の作業風景です。トンネル内にはお入り頂けません。



Tunnel 2

“Lightroom～幻想空間 MIRAI”

野澤 辰吾 桜美林大学芸術文化学群ビジュアル・アーツ専修 田中敬一ゼミ

この“光のトンネル”のイメージは「送水管の中を通る幻想的な芹ヶ谷川」です。芹ヶ谷公園の湧水は、送水管を通り地下を流れ、恩田川高瀬橋下流で川に流れ込みます。この流れは地下を流れる前は芹ヶ谷川と言われていました。このアーチの泉を送水管に例え、幻想的な芹ヶ谷川を連想させます。この作品では超高輝度サーチライトを使い、光を水面に当てることで流れの波紋を浮かび上がらせています。スモーク、レーザー光は、日常を離れ、過去にさかのぼる光景を醸し出します。フルカラースポットライトで色を変え、環境音と共に、見ているも飽きさせることなく、様々な色彩変化での写真撮影を楽しめる作品です。

